

さいたま市民間提案制度・行政課題説明シート

件名	新しい認知症観の普及啓発に資する提案
概要	認知症を「共に生きる」「尊重する」「理解する」という視点でとらえる「新しい認知症観」を社会に広めることを目指しており、その実現のための提案を求める。
解決したい課題	【現状】 1. 認知症に対する理解不足・関心の低さ ・認知症に対する誤解や偏見が根強く、企業や従業員の関心が低い。 ・認知症に関する情報が身近に感じられていない。 2. 制度の認知度不足 ・「認知症フレンドリー企業・団体制度」自体の認知度が低く、登録のメリットが伝わっていない。 3. 企業側の負担感 ・講座開催や制度登録に対して「手間がかかる」「業務に支障が出る」といった懸念がある。 4. 社内浸透の難しさ ・企業内での理解促進や従業員の参加意欲を高める仕組みが不足している。
	【目指す姿】 1. 認知症に対する理解と共感が企業文化に根づく ・従業員が認知症について正しく理解し、偏見なく接することができる。 ・認知症の人が顧客や同僚として関わる場面でも、自然な対応ができる職場環境。 2. 企業・団体が地域共生の担い手となる ・CSRやSDGsの一環として、認知症フレンドリーな取り組みを推進。 ・地域の一員として、認知症の人や家族を支える活動に参画。 3. 認知症サポーターが企業内に広く育成される ・若手社員から管理職まで、幅広い層が講座に参加。 ・サポーターが職場内外で活躍し、認知症にやさしい社会づくりを牽引。 4. 制度や講座が「参加したくなる」魅力的なものになる ・楽しく、学びがあり、参加することで誇りを持てるような講座設計。 ・登録企業が社会的に評価され、従業員のモチベーション向上にもつながる。
求める提案(例)	1. 認知症フレンドリー企業・団体制度の登録促進に向けた周知施策 ・登録企業の事例紹介を通じた制度の認知拡大（Webサイト、SNS、店頭掲示など） 2. 企業内での認知症サポーター育成の推進 ・受講者による社内外への啓発活動（オレンジリングの着用、社内報での紹介など） 3. 認知症月間（9月）に向けた啓発イベント企画 ・店舗や施設での認知症啓発展示・キャンペーンの実施 ・登録企業と連携した「認知症フレンドリーデー」の実施（社員のオレンジリング着用、店頭での啓発ポスター掲示など） ・市民参加型イベント（講演会、体験型ワークショップ、パネル展示など）の開催 ・SNSキャンペーンによる認知症に関する情報発信と参加促進 4. 登録企業の取り組みを広く伝える広報支援パッケージの活用提案 ・自社の認知症関連取り組みを紹介する動画・記事の制作 ・登録企業が自社の広報活動に活用できるテンプレート資料の提供（ポスター、バナー、紹介文など） ・市と連携した広報媒体（広報誌、Webサイト、SNS等）での発信

市が提供できる メリット	・地域活動のチームおれんじやオレンジカフェ、地域包括支援センターとの調整 ・登録企業として、市の広報媒体での事例紹介、民間事業者名の掲載など ・キャラバン・メイト（講師）の派遣による講座開催支援 ・認知症に関する資料提供や研修情報の共有
予算措置	未定（市の支出を伴う場合は原則公募となります）
留意点	
カテゴリ	高齢者福祉・介護
目指すSDGsゴール	⑪住み続けられるまちづくりを
参考情報	・新しい認知症観（https://www.mhlw.go.jp/content/001410056.pdf） ・認知症フレンドリー企業・団体とは （https://www.saitama-orange.com/efforttype/friendly-member） ・認知症サポーター養成講座 （https://www.saitama-orange.com/seminartype/training_cate）
担当部署	福祉局長寿応援部いきいき長寿推進課